

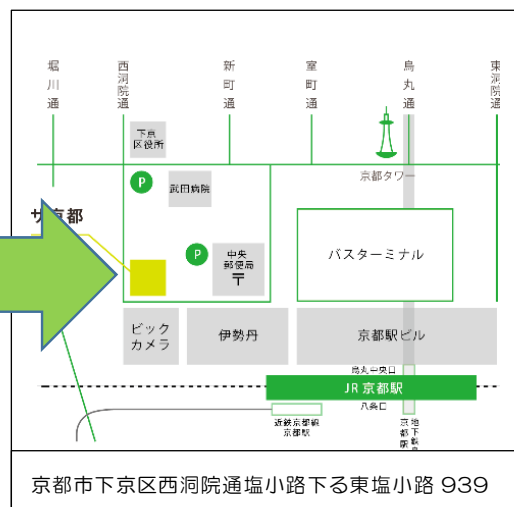
「京都・外断熱セミナー～外断熱改修のすゝめ」のご案内

「夏暑く・冬寒いマンションを外断熱に改修したい！」…寄せられた多数のご要望に答えるべく、「2010年からの6年間に関わった14棟のマンション大規模修繕工事で、外断熱改修設計監理（うち4棟は一般改修）が如何にして実現したのか？管理組合との出会いから大規模修繕工事は改修設計監理の受注に至る経緯、管理組合が「一般改修」または「外断熱改修」を選択した理由等を、担当した一級建築士大橋周二さんに平易に解説戴きます。また、最近京都で湿式外断熱(EIFS)改修が竣工したマンション等の温熱性能実測結果についても報告します。

「外断熱であれば何でも良いのか？どのような断熱性能が必要なのか？費用対効果の実態は？」…大規模修繕を控えたマンション住民の皆様が、日常の色々な疑問に対する答えを見つけて戴く好機として、下記の内容で「京都・外断熱セミナー～外断熱改修のすゝめ」を開催致します。ご参加をお待ちしています。

記

主催：特定非営利活動法人 外断熱推進会議
 協賛：StoJapan（株）、（株）高本コーポレーション
 開催日時：平成27年6月24日(水) 13:30-16:40
 会場：キャンパスプラザ京都
 都市大学のまち交流センター1会議室
 定員：50名（先着順）
 会費：1,000円（資料代）
 テーマ：「外断熱改修のすゝめ」



- 講演1：堀内正純 外断熱推進会議 専務理事
 「外断熱とは～世界と日本」（仮題）
 講演2：芝池英樹 京都工芸繊維大学准教授・博士（工学）
 「外断熱改修されたマンションの温熱性能」（仮題）
 講演3：大橋周二 大橋建築設計室 代表
 「外断熱改修のすゝめ～管理組合との合意形成および施工の注意事項」（仮題）

パネルディスカッション

司会 芝池英樹／前出
 パネリスト 外断熱改修したマンション住人
 西村 隆／(株)西村設計工房、安田昌弘／(株)マック建築デザイン研究所
 大橋周二／前出、堀内正純／前出

••FAX•FAX••FAX••FAX••FAX••FAX••FAX••FAX••FAX••FAX••

□「京都・外断熱セミナー」に参加します

会社名	(所属：)	TEL	
団体名		FAX	
氏名	歳	E-mail	
住所 〒			

特定非営利活動法人 外断熱推進会議 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 407 電話 03-3436-4755

参加申込書先 FAX 03-3436-0678 (外断熱推進会議宛)

「京都・外断熱セミナー～外断熱改修のすゝめ」!

外断熱は、熱性能・結露対策・蓄熱性・躯体保護・運用コストや維持管理コスト低減が期待できる。

コンクリートの建物(マンション、病院、高齢者施設など)の外側を厚い断熱材で覆い、エネルギー消費を減らし、建物の耐久性を延ばし、維持管理コスト削減に効果がある外断熱工法、なぜ行われないのか?

外断熱建築の一人者・外断熱推進会議/堀内、外断熱建物の実測や予測計算の一人者・京都工芸繊維大学准教授/芝池博士6年間で10棟のマンション大規模修繕工事において外断熱改修設計監理を実践している一級建築士/大橋先生・・・プロが「外断熱改修のすゝめ」を解説します。



外断熱改修した京都市内の分譲マンション

外断熱は、躯体保護・運用コストや維持管理コスト低減 24

外断熱は、熱性能・結露対策・蓄熱性・躯体保護
・運用コストや維持管理コスト低減が期待できる。

(5) コンクリート建築の断熱技術
鉄筋コンクリート(RC)造の断熱工法は、内断熱と外断熱に大別できる。内断熱は、発泡断熱材の板状断熱や、現場発泡ウレタンなどで、躯体室内側に断熱する方法で、構造熱橋(ヒートブリッジ)による結露のリスクが高い。また、断熱材内部の結露のリスクが高い。一方、外断熱は、躯体の外気側に断熱層を設ける方法で、図3に示すように多くの利点がある。熱性能に関しては、バルコニー部分を除けば、内断熱では大量に生じる間仕切壁やスラブ裏りの構造熱橋を生じない。また、コンクリート躯体が断熱層の室内側にあるため、外気温の影響を受けにくく、部分的に熱橋が生じても結露のリスクは大幅に軽減される。バルコニーに関しても、近年、躯体と熱的に縁を切り、断熱材を貫通する鉄筋等で繋がることで、その影響を小さくする工法も開発されている。コンクリート躯体がほぼ完全な防湿気密層となるので、断熱材内部の結露のリスクはきわめて低い。また、躯体の蓄熱性の利用や躯体保護の面からも正面的に有利である。初期コストは内断熱に比べて高いが、運用コストや維持管理コストの低減が期待できる。

建築士はユーザーに説明責任を果たしているか!

EIPC External Insulation Promotion Council 2015/5/23

目玉講演:「外断熱改修のすゝめ～管理組合との合意形成および施工の注意事項」(大橋)



これまで6年間で10棟(584戸)の外断熱改修に関わりましたが、4棟は実現に至らず、一般工法によるタイル、塗装改修を実施となりました。外断熱改修の場合、施工後建物外観の形状が大きく変化するため、住民の合意なくして実施はできません。そのため実施にあたっては住民の3/4以上75%の賛成を得ることを原則にしています。実現できなかった4棟は、いずれも70%近くの賛同がありましたが、実施に至りませんでした。その理由は? (大橋先生の記事が日経アーキテクチャー6月10日号に掲載予定!)

□講演:「外断熱とは～世界と日本」 外断熱推進会議専務理事 堀内正純

設立以来、コンクリート建物の外断熱化をすすめてきた外断熱推進会議の堀内が現状を話します。

□講演:「外断熱改修されたマンションの温熱性能」 京都工芸繊維大学准教授 芝池英樹博士

湿式外断熱(EIFS)で大規模改修された分譲集合住宅(京都市右京区)や多くの外断熱建物の熱・湿気性状の実測結果について報告。外断熱であれば何でも良いのか?

□パネルディスカッション

①京都市内で外断熱改修したマンションに暮らす住人の声

②京都の設計事務所/外断熱施工事例と京都での外断熱(新築・改修)について